

## 施設種類別の対策状況

資料 1 - 2

### (1) 達成目標を定め対策を講ずべき施設

施設の種別	施設例	施設種別	講ずべき対策		対策未実施の 主な理由	
			実施率			
			H28 月 4 月現在	H29 年 4 月現在		
①子どもが主に利用する施設及び医療機関	子どもが主に利用する施設	学校	敷地内禁煙	100.0%	100.0%	
		認定こども園、幼稚園、児童福祉施設		100.0%	100.0%	
	医療機関	病院	75.0% (敷地内禁煙 又は建物内禁煙 92.6%)	85.3% (敷地内禁煙 又は建物内禁煙 94.1%)	喫煙する入院患者等がいるため	
②公共性の高い施設	官公庁施設	敷地内禁煙 又は 建物内禁煙	95.3%	100.0%	喫煙する施設入所者等がいるため	
	社会福祉施設		82.0%	91.6%		
	大学等		100.0%	100.0%		
	美術館、博物館		98.8%	100.0%		
	図書館		100.0%	100.0%		
	体育館等運動施設		98.9%	100.0%		
	観覧場、展示場		97.6%	100.0%		
	集会場		97.6%	98.4%		
	公共交通機関、金融機関、公衆浴場		—	—		
③不特定多数の者が利用する施設	飲食店、理・美容店、宿泊施設、販売施設、遊技・娯楽施設	建物内禁煙 又は 完全分煙	—	—		

### (2) 屋外の施設

施設の種別	施設例	講ずべき対策
子ども等の利用がある屋外施設	公園、動物園、植物園、遊園地	敷地内禁煙 ※喫煙場所を設置する場合は、多数の者が利用するところから10メートル以上離して、喫煙場所を設置する。